

(様式第2号)

福祉サービス第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

東京リーガルマインド

②施設・事業所情報

しおかぜ認定こども園	種別：保育所型認定こども園	
代表者氏名：理事長 三宅富之	定員（利用人数）：95（114）名	
所在地：岡山県倉敷市下津井吹上214		
TEL：086-479-7346	ホームページ： http://shiokaze-group.jp	
【施設・事業所の概要】乳幼児保育事業		
開設年月日 昭和51年6月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人 しおかぜ		
職員数	常勤職員：22名	非常勤職員：5名
専門職員	事務員：1名	
	栄養士：1名	
	英語講師：1名	
施設・設備の概要	（居室数）	（設備等）
	保育室5室	調理室・事務所・園庭・トイレ

③理念・基本方針

義務教育及びその後の基礎を培うものとしての、満3歳以上の子どもに対する教育並びに3歳未満の保育を必要とする子どもに対する保育を、一貫した方針の基で、切れ目なく行っていきます。知・徳・体を目標に国際感覚豊かなこどもを育てます。

④施設・事業所の特徴的な取組

外国人英語教師の常駐により、異文化、異年齢などの人と人との日常的な関わりの中で、国際感覚、英会話力を養う。他に地元の食材を使った食育や英会話・体操・水泳・硬筆・音楽・踊りなどに外部の講師を招き教室を開催。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	平成29年 6月 1日（契約日） ～ 平成29年12月21日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	2回（平成25年度）

⑥総評

◇特に評価が高い点

◎法人と共に地域貢献に取り組んでいる

母体法人は下津井地域で初の福祉施設として昭和50年に設立した。高齢者介護、保育、地域貢献事業など多岐にわたり展開し、地域福祉に寄与している。当園は認定こども園開園を契機に、子育て貢献費を予算化し、子育て広場に専任の職員を派遣している。一時預かり、園開放、小学校関係連携活動、そして地域子育て支援セミナーの開催と「開かれた園」を目指している。また、地域の伝統舞踊「とこはい下津井節」の講師を招いて練習し「魚島フェスティバル」や「祇園神社夏祭り」で披露し、世代間交流を楽しんでいる。このように様々な取り組みを積極的に行ない、地域に愛される園を目指している。

◎5つの教室が継続して開かれ、子ども達の力になっている

園独自の取り組みとして、「英語」「体育」「硬筆」「音楽」「踊り」の5つの教室の提供を行っている。特にアメリカ人の常勤職員による「英語」の教室は、日本語を使わず、全て英語で会話をしている。英語が自然と身につくように、年齢に合わせたカリキュラムを組んでいる。日々、歌やゲームを繰り返すことで、子ども達も職員も楽しく覚えられる。また、「体育」は体育専門職員や外部指導者を招いての細やかなカリキュラムが組まれている。さらに、「硬筆」は卒園までにひらがな、カタカナが読めて書けるようにしていくことを目標としている。教室の料金は保育料の中にも含まれていることも園の特色と言える。

◎食育に力を入れている

「食育」を重点目標に置いている。栄養士の食生活の向上に対する積極的な取り組みが、食育アンケートに見られた。「親子で料理をすることがあるか」「自分で魚をさばくことができるか」「惣菜の使用頻度」など保護者への具体的な質問があり、答えることで家庭での食事の重要性を考えるきっかけを作っている。また、4・5歳児のクッキング・親子クッキング・親子給食試食会も取り入れている。更に、下津井の郷土料理や今年度から始めた全国のご当地グルメを毎月一回献立に入れて、楽しみを増やしている。

◎保育時間

2・3号認定児の通常時間は、7時30分～18時30分と他の保育園より終了時間を遅く設定している為、延長保育料が追加で掛かることが少ない。

◎1号認定の受入体制

1号認定子どもの定員は15人であるが、入園を希望する保護者を選別せず、減算になるにも関わらず全て受入れている。

◇改善が求められる点

◎安全対策

いろいろな事態を想定した訓練を取り入れると、更なる安全対策に繋がると思われる。

◎要望や意見の対応について

保護者アンケートを実施し保護者の要望・意見を確認している。要望や意見については記録があり、ホームページにも公表している。要望や意見に対して、改善した点を保護者にフィードバックする仕組みが構築されていない。保護者に対してきめ細やかな対応をするには、職員間の連携や、組織作りが必要と思われる。さらに、保護者と職員との関係がより良いものになるためにも、改善した内容を保護者に報告する仕組みを確立することを期待する。

◎経営状況等の周知について

会議等で事業計画や経営状況を職員に伝えているが十分把握出来ていないように見受けられた。今後は組織として理解を深めるための具体的な取り組みを期待したい。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

こども園になって3年が経った時、この様な客観的な評価を頂き有難うございました。ご指摘頂いた改善点は皆で良く協議し、すみやかに対処し、更に利用者様や地域の皆様に愛される園となる様努力してまいります。

⑧第三者評価結果（別紙）